

シールドトンネルデータベース概要

平成24年5月

土木学会 トンネル工学委員会
シールドトンネルデータベース運営部会



経緯

2007.6～2011.6

- ・トンネル工学委員会に、シールドトンネルのデータベース構築に関する検討部会を設立.
- ・シールドトンネルの建設中の技術情報をデータベース（以後、DBと呼ぶ）化して利用する方法を検討.
- ・報告書，報告書概要：http://committees.jsce.or.jp/tunnel/**/

参照

2011.6～

- ・上記部会の成果を基に、シールドトンネルDB運営部会を設立.
- ・シールドトンネルDB実現に向けて準備.
- ・シールドトンネルDB利用分科会が、シールドDBを提供する場として、発足.



意義

- ・日本のシールドトンネル構築技術の維持，
将来のシールドトンネル構築へのフィードバック
- ・シールドトンネルの効率的な維持管理
- ・シールドトンネルのライフサイクルを俯瞰した
ハード・ソフトの技術開発，そのバックデータの蓄積



- ・シールドトンネルの
耐久性向上，建設・維持管理コストの低減
- ・国際建設市場での，日本のプレゼンスの発現



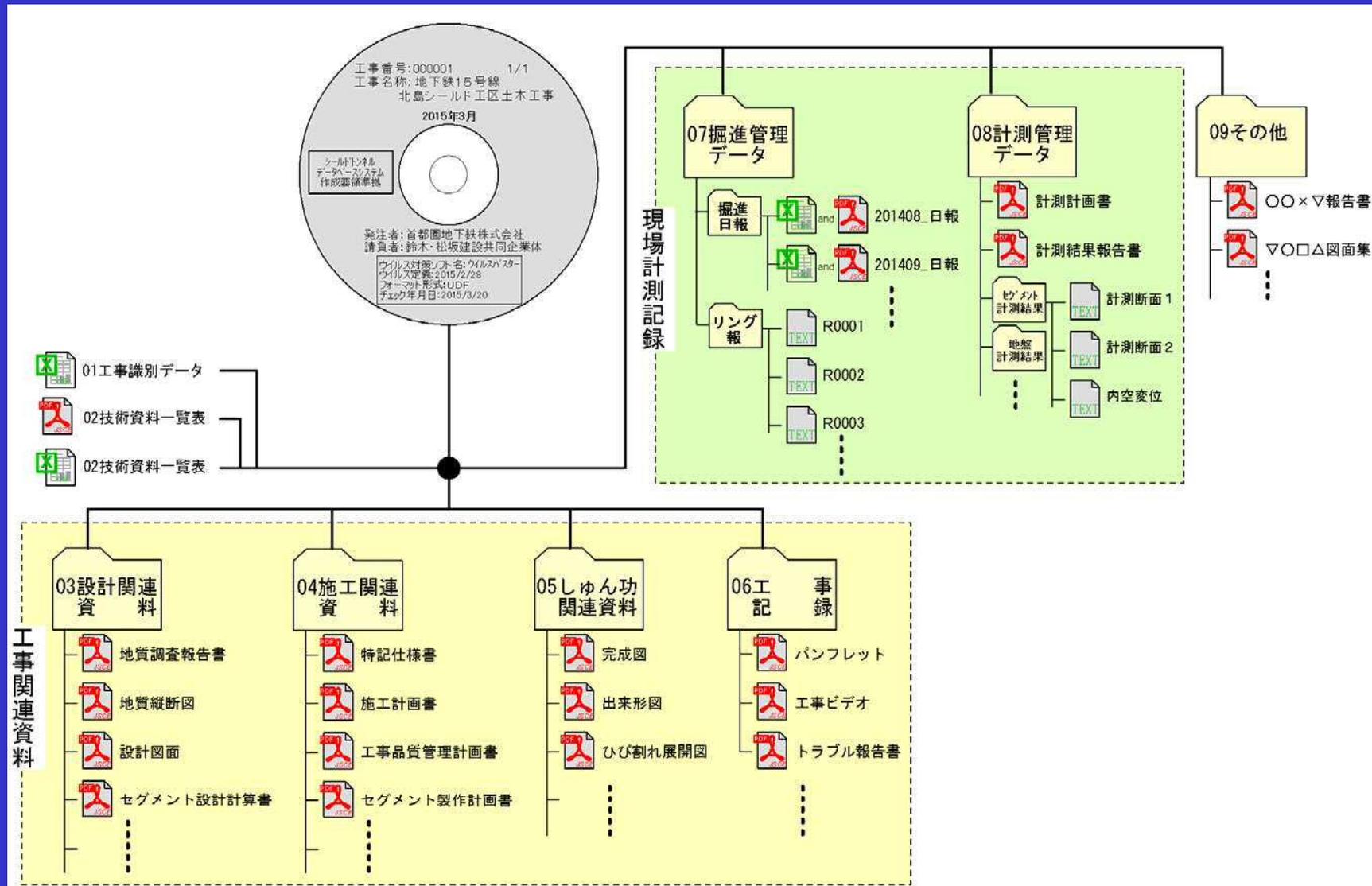
シールドトンネルデータベースの構成

1.基本方針

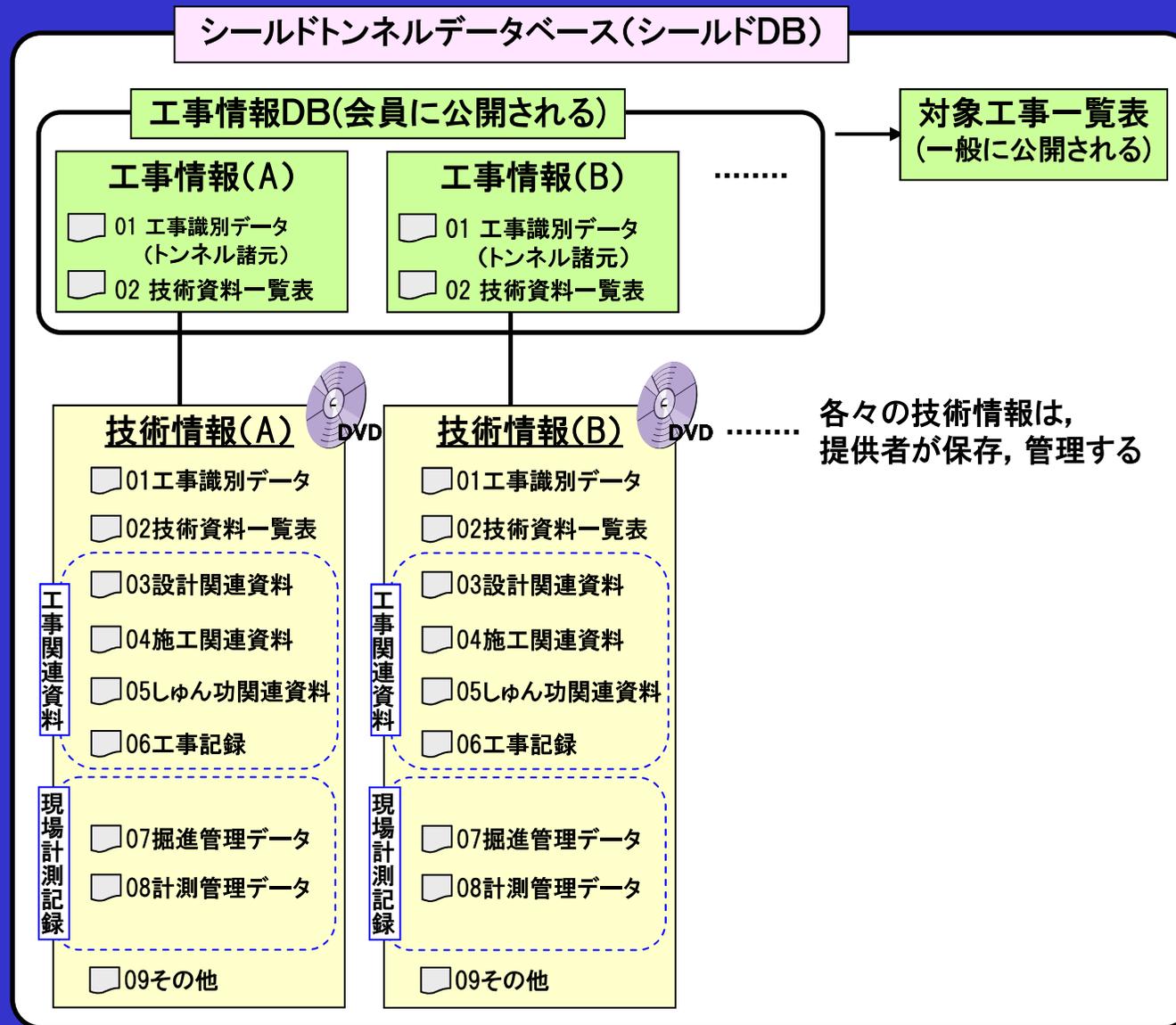
- 誰でも作れる, 誰でも使える.
保存資料・データの構成: 統一(網羅的な構成)
書式化できるデータ: できるだけ書式統一
- 内容: ある資料・データを, 全部, そのまま残す.
- 方法: 手間をかけずに, そのまま残す.
紙データ: PDF化
対象: これからの工事
- 保存媒体: DVD1枚



2.データの構成(DVD)

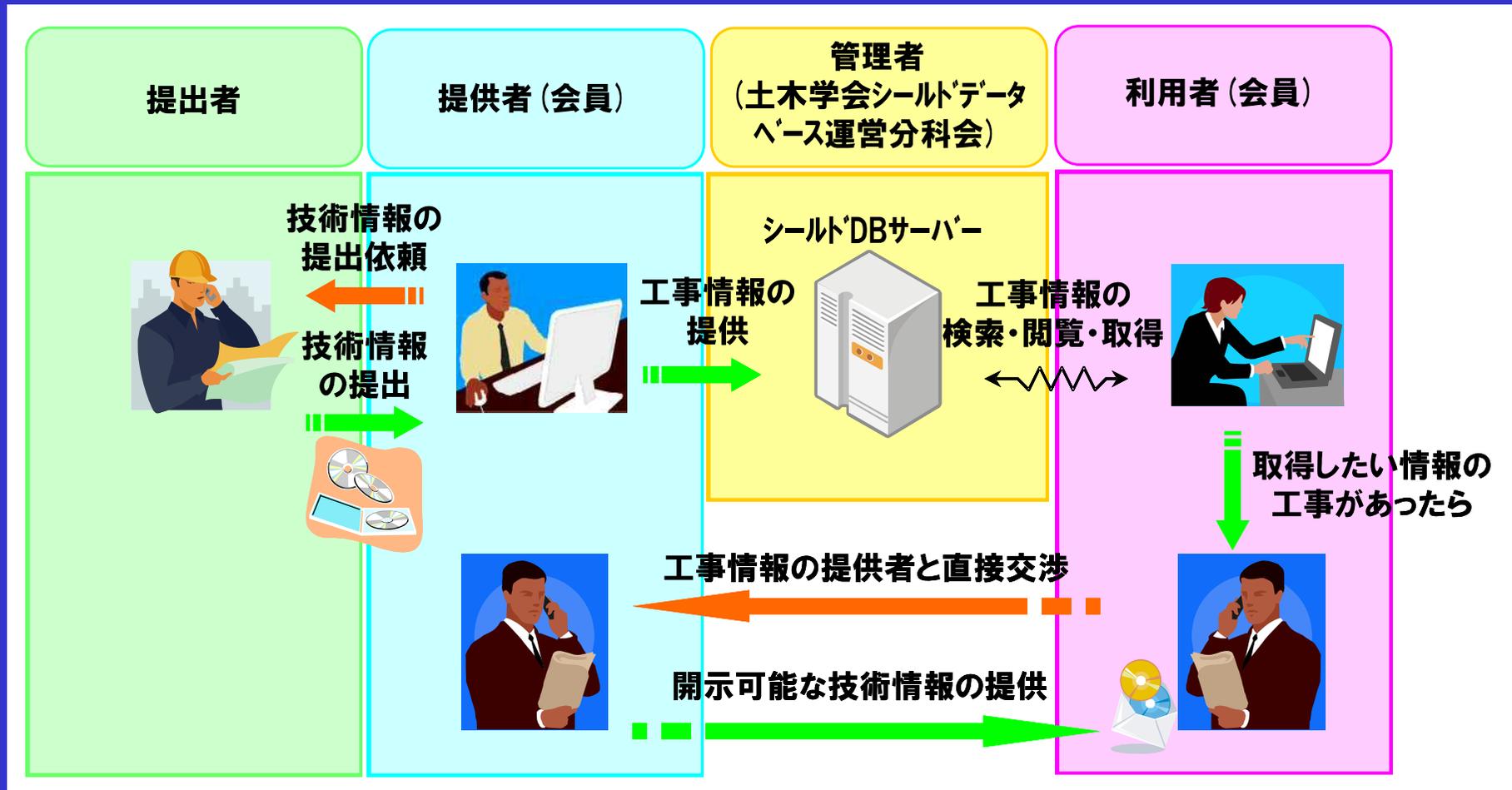


3. データベースの構成



シールドトンネルDBの運用

1.シールドトンネルDBの仕組み

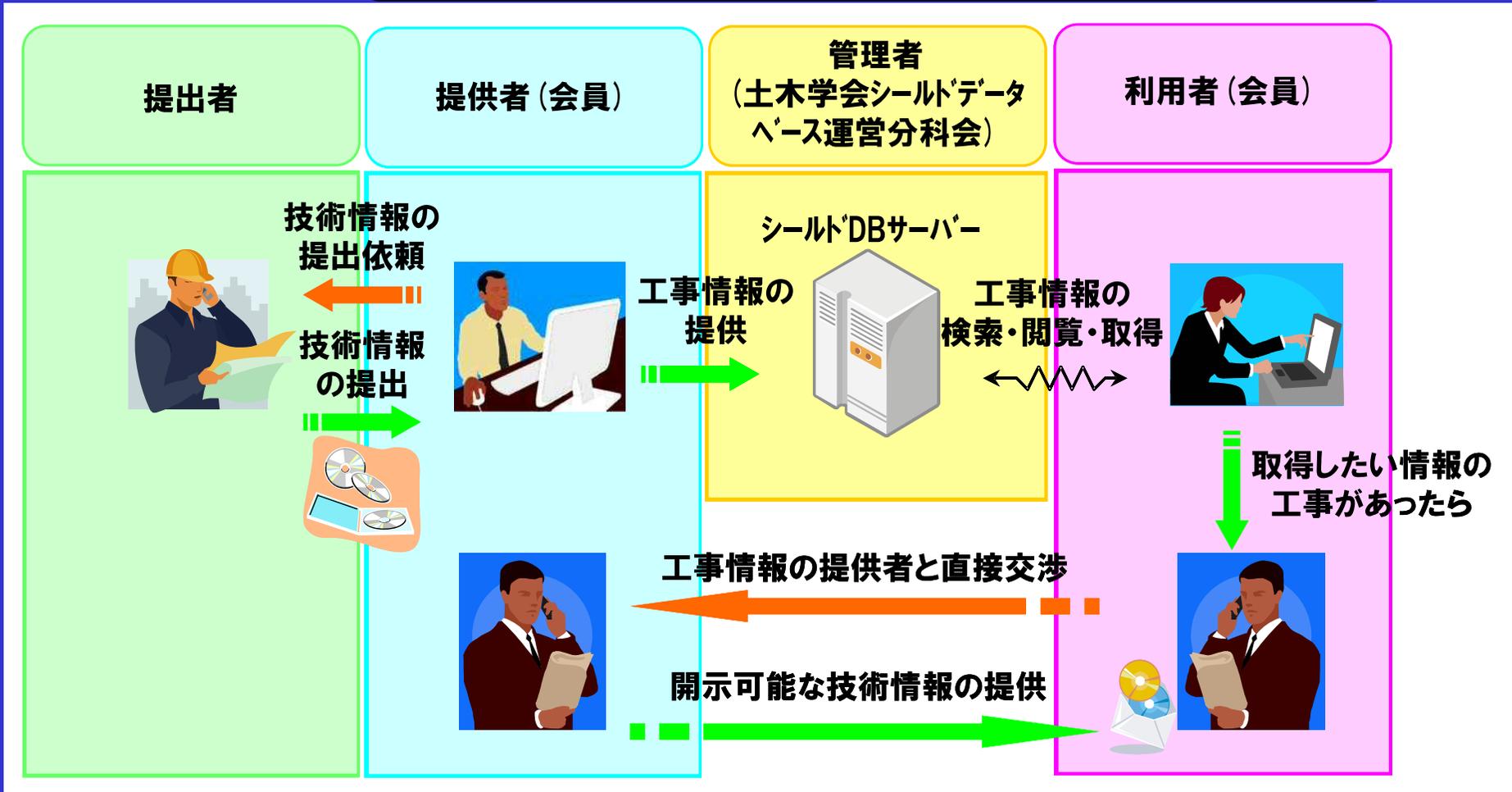


2. シールドDBの関係者と役割

- **提出者(施工者)**
作成マニュアルにより、提供者と協議し、**技術情報**を提供者に提出。
- **提供者(事業者, 発注者)**
提出者から得た**技術情報**を取得・保管。
管理者に**工事情報**を提供。
利用者に**技術情報**を提供。
- **管理者(シールドトンネルDB運営部会)**
提供者から提供された「**工事情報**」により**工事情報DB**を構築。
工事情報DBを利用者に公開, 運営, 維持管理。
- **利用者(会員)**
工事情報DBから利用したいデータを検索。
提供者に直接提供を依頼。**技術情報**を入手。
(**技術資料の提供は, 提供者の判断による**)



3. シールドDBのルール



シールドトンネルDBへの参加について

シールドトンネルDBへの参加と、技術情報の保存、工事情報の提供にご協力いただけますようお願い申し上げます。

問い合わせ先:

土木学会 トンネル工学委員会 シールドトンネルDB運営分科会

E-mail: tunnel-shielddbmn@jsce.or.jp

参加申請方法

1. シールドトンネルDB運営分科会 (tunnel-shielddbmn@jsce.or.jp) へ参加希望を伝える。
2. 送られてくる「シールドトンネルDB運営部会【要領】」末尾にある「様式-1」に記入, 押印し, 下記へ郵送。

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内

土木学会 トンネル工学委員会 シールドDB運営部会

